現地の大卒資格取得が在日ベトナム人可能に

名古屋の協会、オンラインで新制度



在日ベトナム人の若者を支援する取り組みを発表した愛知・名古屋ベトナム友好親善協会の総会＝名古屋市北区の愛知学院大名城公園キャンパスで

日本、ベトナム両国の企業の発展や教育支援に取り組む愛知・名古屋ベトナム友好親善協会（名古屋市）は、在日ベトナム人の若者らがオンライン授業で現地の大卒資格を取得できる制度を導入する。名古屋市北区の愛知学院大名城公園キャンパスで7日開かれた協会の総会で報告された。

制度は、南部ビンロン省にあるチャビン大学で、高校や短大などを卒業した在日ベトナム人が1年半～4年かけて学士を取得できる。情報技術や会計学、法学、日本語学など六つのプログラムが用意されている。

導入は来年度からで、入学は書類選考のみで、単位取得に必要な授業はオンラインで受けられる。授業料は現地よりも安い30～50万円程度に設定されている。

協会では、制度の周知や学生の就学前後のサポートなどを行う。

同協会の夏目長門会長は、口腔外科医として長年、ベトナムなどで診療支援を実施。チャビン大歯学部でも日本の治療技術などを伝えている縁で、同大との連携が実現した。夏目会長は「全国どこからでも入学できるので向上心のある若者を支援したい。ベトナム人を雇用する企業にも知ってほしい」と話した。

総会後、在日ベトナム人と日本人が互いの言語で、共生について考えを発表するスピーチコンテストがあり、県内外の小学生から社会人まで計10人が出場した。（大野沙羅）